

神奈川畜産情報

発行所
神奈川県畜産会
横浜市磯子区西町14-3
畜産センター内
電話 045(761)4191
FAX 045(759)1162
発行人
平本光男



隔月1回(1日)発行
〔神奈川畜産情報(平成18年1月号以降)はホームページでもご覧になれます〕

神奈川県畜産会のホームページ
「かながわ畜産ひろば」[\[http://kanagawa.lin.gr.jp/index.htm\]](http://kanagawa.lin.gr.jp/index.htm)

4月1日から 酪農の新組織がスタート

県内酪農事業のより一層の強化と発展を図るため、全国農業協同組合連合会と神奈川県酪農農業協同組合連合会は令和8年4月1日をもって合併、新体制での運営がスタートしました。県内酪農組織の再編は長年の課題でしたが、この度の合併により県内の酪農関連機能が一括化され、より効率的かつ安定的な事業運営体制の構築を図ることが可能になったとのことでした。

今後は、全国農業協同組合連合会神奈川県本部(畜産部畜産事業センター及び畜産部酪農課)として、地域酪農の持続的発展に向けた取り組みをさらに推進していくとのことです。

「神奈川県酪農生産者協議会」結成総会開催される

3月23日に神奈川県酪農生産者協議会結成総会が平塚プレジールで開催され、生産者、関係団体など74名が出席しました。本協議会は県内の酪農生産者の意思結集と連携強化を図り、本県における酪農業振興と持続可能な酪農経営の確立に資することを目的として設立されました。発起人を代表して県酪連会長でありかながわ酪農協組合長である荒井新吾氏から、「県内酪農は大きな転機を迎えているが、県酪連会長として今回の再編

が組織としての最適な形を出したものであり県内酪農の持続性を高める一歩であると強く感じている。かながわ酪農協は78年の歴史に一区切りを迎えることとなったが、志半ばで逝去された井上剛前組合長の思いを今後は全農神奈川県本部が引き継ぎ、さらに発展させていくことになる。これまで共同の精神をもってご尽力された全ての方に改めて感謝申し上げたい。さらに神奈川県中央酪農協議会は役割を終え、神酪(しんらく)を組織として結成する運びとなった。今日現在、県内83戸という厳しい現実の中でも生産者自らが新たな連携の形をとり、歩みだしたことはまさに神奈川県酪農の結束を感じさせるものである。一方で酪農情

勢は全く楽観できるものではない。このような時期だからこそ組織の役割が明確化され、関係団体と一体となり、神奈川県酪農が次の挑戦に歩みだす時であると感じている。課題は多々あるが、皆様と力を尽くす所存である。今回の総会が本県酪農の新たな門出となり、未来の確かな歩みを進める契機となることを祈念したい。」との力強いメッセージが発せられました。また、来賓を代表して神奈川県環境農政局農水産部畜産課 甲斐課長代理、神奈川県農業協同組合中央会 平本代表理事会長、関東生乳販売農業協同組合連合会 菊池代表理事会長、あしがら乳業株式会社 宇山代表取締役社長から、本県酪農及び新組織の発展に大きな期待を寄せる御祝辞がありました。

(畜産会総務部)

JA 全農かながわ 畜産部

◆畜産事業センター相談課

◆畜産事業センター運営課

平塚市土屋 1275-1

電話 0463(58)9541(代表)

FAX 0463(58)9625

◆畜産部酪農課

(神奈川県酪農生産者協議会事務局)

伊勢原市上粕屋 220

※旧酪連事務所と同じ場所です

電話 0463(94)1020

FAX 0463(94)1027

県人事異動（順不同） （四月二日付）

◎畜産課

▽副課長（市町村課副課長併選挙管理委員会書記長代理）和田浩▽調整

グループ技師（同 畜産振興グループ GL）池田曉史▽調整グループ主査（同 主任主事）佐藤剛大▽調整グループ主事（新採用）高田響▽畜産振興グループ GL（畜産技術センター企画研究課主任研究員）白石葉子▽畜産振興グループ主任技師（同 技師）飯島智大▽畜産振興グループ主任主事（同 主事）肥田野希▽畜産環境グループ主任主事（同 主事）野崎貴之▽畜産環境グループ技師（新採用）伊藤由貴▽安全管理グループ主査（同 畜産環境グループ主査）津田彩子▽安全管理グループ主査（湘南家畜保健衛生所企画指導課主任技師）白井葵▽安全管理グループ主査（同 主任技師）安井嘉代子▽安全管理グループ主任主事（同 主事）今井知之

◎県央家畜保健衛生所

▽企画指導課技師（新採用）坂口萌美▽防疫課専門家畜指導員（畜産技術センター普及指導課副技師）松尾綾子▽防疫課専門家畜指導員（県央地域県政総合センター地域農政推進課主査）柴田淑子▽防疫課主任技師（新採用）西郷智貴▽防疫課技師（国

からの割愛）鈴木雅也▽防疫課技師（畜産課安全管理グループ技師）小澤なつめ▽病性鑑定課主査（同 主任技師）猪瀬早紀▽病性鑑定課技師（畜産技術センター企画研究課技師）佐々木駿

◎湘南家畜保健衛生所

▽企画指導課主任技師（新採用）浅井友紀子▽防疫課主任技師（国からの割愛戻り）近内将記▽防疫課主任技師（新採用）山根智衣

◎畜産技術センター

▽管理課主事（新採用）稲垣千絵里▽企画研究課専門研究員（畜産課調整グループ技師）西田浩司▽企画研究課主任研究員（湘南家畜保健衛生所防疫課主任技師）林和貴▽企画研究課主任研究員（新採用）林迪▽企画研究課技師（新採用）佐野茂光▽普及指導課副技師（県央家畜保健衛生所企画指導課主査）石原凡子▽普及指導課主任技師（同 技師）菊地千絵

◎その他

▽かながわ農業アカデミー副校長兼管理課長（畜産課副課長）佐々木純▽中小企業支援課小田原駐在事務所主事（畜産課調整グループ主事）小島十雅▽国へ派遣・割愛（県央家畜保健衛生所防疫課技師）山上倭生▽国へ割愛戻り（県央家畜保健衛生所防疫課技師）永田彩華▽県央地域県

政総合センター地域農政推進課副技師（県央家畜保健衛生所防疫課専門家畜指導員）横澤こころ▽総務局財政部財政課主任技師・川崎競馬組合きゆう舎管理課派遣（湘南家畜保健衛生所防疫課主任技師）宮崎章子▽水源環境保全課森林保全グループ主事（畜産技術センター管理課主事）近藤司▽農政課主査（総務局財政部財政課主査・川崎競馬組合派遣）石原深雪

◎退職者（三月三十一日付）

▽山本楨（県央家畜保健衛生所防疫課主査）、喜多浩一郎（畜産技術センター企画研究課専門研究員）

◎県人事異動（順不同）（二月一日付）

◎畜産課

▽畜産振興グループ技師（新採用）村山芽依

◎県央家畜保健衛生所

▽病性鑑定課主任技師（新採用）石川由

令和8年度県畜産関係 当初予算の概要について

神奈川県の令和8年度当初予算案は、「いのち輝くマグネット神奈川」の実現に向けた予算として編成しました。子どもが健やかに育つ社会環境を整備するため、子ども・子育て支援の推進を図るほか、県内経済・

産業の活性化のため、日産自動車生産縮小等への対応や、宇宙関連産業の振興等に取り組みます。また、共生社会の実現に向け、地方独立行政法人神奈川県立福祉機構の設立等に取り組みほか、「災害に強いかながわ」の実現に向け、新たな神奈川県水防災戦略等に基づき、災害対策を推進します。さらに、2027年開催のGREEN×EXPO 2027に向けた取組を着実に進めるとともに、これを契機とした観光振興を推進します。こうした取組を進めるに当たり、引き続き、デジタルの力を活用していくことで、県民の抱える不安を解消し、誰もが安心して暮らせるやさしい社会の実現を目指します。

そのような中で畜産課の予算については、畜産経営の体質強化を図るため、○生産能力の高い優れた乳牛の増産技術を活用した生産基盤の強化への取組○国産飼料確保やエコフィード活用に向けた取組支援○県産畜産物の評価を高め販路拡大につなげるための取組支援○特定家畜伝染病（豚熱、口蹄疫、鳥インフルエンザ等）について、農場の飼養衛生管理の強化等による発生予防や万が一発生した際に備えた体制の充実・強化への取組○畜産業における脱炭素社会の実現に向けた取組○畜産農家と耕種農家の連携（耕畜連携）を

推進し、良質堆肥生産及び供給態勢構築やモデル地域において耕種農家による飼料作物栽培を行うとともに、生産された農産物の高付加価値化に向けた検討を行うなど、総合的な支援に取り組みます。

予算規模は七億四、九〇〇万円であり、以下に施策分野ごとに整理した主な事業等を紹介します。

1 畜産技術振興関係 一四、八二四千円

飼料の輸入依存体質から脱却し、飼料基盤の安定強化を図るため、飼料生産に向けた作付けの奨励等を行います。

畜産経営の健全な発展を推進するため、生産・経営技術指導を行うほか、家畜商・家畜人工授精師免許交付事務、家畜人工授精師養成講習会の開催及び畜産業振興事業等の受託事業などを行います。

2 畜産飼料対策関係 一、三三〇千円

飼料製造業者等への指導及び飼料の収去検査等を行うとともに畜産農家への適正使用指導を行うほか、配合飼料価格安定対策事業に対して補助します。

3 生乳流通改善調整事業関係

三、二七九千円

良質な生乳の生産振興の推進等に対応して補助するとともに、加工原料乳生産者補給金制度の適正な運営を図ります。

4 食肉鶏卵流通改善事業関係

八、八六九千円

鶏卵の価格安定対策事業及び養豚経営安定資金の造成に対して補助します。

5 酪農活性化推進事業関係

五、九九二千円

酪農の活性化を図るため、酪農関係団体と連携し、経済性を重視した後継牛確保のためのプランニングの推進に取り組みとともに、若者の県内酪農業への就職を促進するため、県内高校生等の牧場における実践的研修に対するフォローアップを行います。

6 畜産経営環境整備事業関係

一四八、四四七千円

家畜排せつ物の適正処理を指導するとともに、開放豚舎の気流をコントロールすることで臭気を集約する方法や効率よく脱臭する方法の検討及び脱臭設備の性能を分析・検討します。畜産経営の基盤強化を図るため、周辺環境に対応した畜舎や堆肥舎等を導入し、生産性の向上や堆肥の高品質化を図るための施設整備を支援します。

7 元大野山乳牛育成牧場関係

一、二六、一六二千円

大野山乳牛育成牧場跡地の適正な管理を行うとともに、牧道を県営林道に移管するため、県営林道として

利用者が安全に利用し、県が確実に管理できるよう、安全施設の設置等、確定した規格に基づき工事を実施し、県営林道に移管します。

8 養豚対策関係 三八、六〇二千円

養豚経営の体質強化を図るため、畜産技術センターで造成した優れた能力を持つ系統豚を活用した豚肉の銘柄化を進めます。

9 畜産物販売促進事業関係

七、五〇九千円

県産畜産物の評価を高め販路拡大につなげるため、県と生産者団体で構成する協議会において、認知度向上に資する情報発信力の強化に取り組むとともに、県産肉用鶏「かながわ鶏」のブランド力の強化に向けた取組など、県産畜産物の出口戦略を推進します。

10 耕畜連携推進事業費

一、二七八〇千円

畜産農家と耕種農家の連携（耕畜連携）を推進し、良質堆肥の生産、供給態勢構築や耕種農家による飼料作物栽培体系の実証を行うとともに、生産された農産物の高付加価値化に向けた検討を行います。

11 家畜保健衛生費 二二六、〇九二千円

口蹄疫やヨーネ病等の家畜伝染病の発生予防及びまん延を防止するため、検査や指導等を実施するとともに、迅速かつ的確な初動防疫を実施

し、まん延防止に努めます。また、家畜の慢性疾病対策や畜産物の安全性を確保するため、畜産農家への衛生対策指導を行います。さらに、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づく動物用医薬品の適正な製造・販売等の監視指導を行うとともに、獣医師法や獣医療法に基づく適切な獣医療を提供する事業に対する補助や獣医師等への指導監督を行います。

12 特定家畜伝染病対策事業費

二、三二、九五四千円(家畜保健衛生費の内数)

家畜伝染病のうち、発生時に大きな影響を及ぼす特定家畜伝染病（豚熱、口蹄疫、鳥インフルエンザ等）について、農場の飼養衛生管理の強化等により、県内における発生予防を図るとともに、万が一発生した際に備えた体制の充実・強化を行います。

13 畜産技術センター費

一六六、四三三千円

高能力家畜の改良増殖を図るためのOPU等の受精卵移植技術や、都市と調和した畜産経営を行うための畜舎排水の高度処理技術、牛由来の温室効果ガス削減に有効な地域資源の利用方法の検証などの試験研究を行います。

また、老朽化により破損している畜産技術センターの焼却炉改修工事を実施します。

令和8年度家畜人工授精師養成講習会（牛）を開催します

家畜人工授精師になるには、家畜改良増殖法に基づき県等が開催する家畜の種類別に行う家畜人工授精に関する講習会（家畜人工授精師養成講習会）を受講し、その修業試験に合格した証明書を添えて、知事に免許証の交付申請を行う必要があります。この手続きを経て、免許を取得することができます。

また、畜産農家において、保存しある家畜人工授精用精液及び家畜受精卵（以下、家畜人工授精用精液等と言う。）を譲渡（販売・無償譲渡・他者の使用する雌畜への家畜人工授精を含む）する場合は、畜産農家自ら家畜人工授精所を開設することが必要です。家畜人工授精所で保管している家畜人工授精用精液等以外は、他者へ譲渡等ができませんので、十分ご注意ください。（※家畜受精卵を採取した獣医師が開設する家畜人工授精所が保存する場合は、家畜人工授精所を開設していない農家で飼

養されている雌牛から採取した受精卵であっても、他の農家や家畜人工授精所に譲渡することができます。）

家畜人工授精所は、家畜人工授精師の免許を持ち、設備や器具、書類（家畜人工授精簿や譲渡等記録簿等）の整備等を行うことにより、知事の許可を受け開設することができます。

免許が必要な方は是非この機会に申込みをお願いします。

【講習日時】

令和8年7月17日（金）

令和8年8月17日（月）

8時30分～17時30分まで（7月20日以外の土日祝日を除く21日間）

【開催場所】 東京農業大学厚木キャンパス、県畜産技術センター

【受講料】 二万三、〇〇〇円（別途講習テキスト代が必要）

【受付期間】

令和8年5月18日（月）

令和8年5月29日（金） 必着

詳細は、県畜産課HPあるいは、記載の二次元コードを読み込み参照し

てください。

※申込方法は、5月中旬にHPにて公開します。

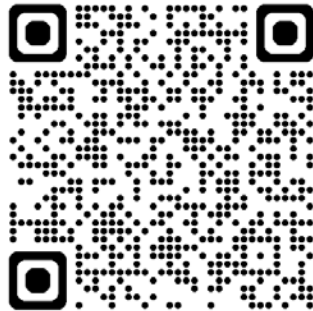
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/w5c/cnt/F70185/p1038030.html>

【問合せ先】

神奈川県環境農政局農水産部 畜産課 畜産環境グループ

電話045（210）4514

（畜産課 伊藤）



牛マルキン

（肉用牛肥育経営安定交付金制度）
～交付状況～

令和八年二月～二月交付金

概算払単価（肥育牛二頭当たり）

○肉専用種

一月 交付なし

二月 交付なし

○交雑種

一月 交付なし

二月 交付なし

○乳用種

一月 二二、九七五・三円

二月 三〇、三六四・四円

（畜産会 倉迫）

肉用子牛生産者補給金制度

令和七年度第四四半期（八年一月～三月）の指定肉用子牛の品種区分ごとの平均売買価格は次のとおりでした。

黒毛和種 八〇四、〇〇〇円

交雑種 四六八、九〇〇円

乳用種 二四一、三〇〇円

黒毛和種・交雑種・乳用種は保証基準価格、合理化目標価格を共に上回っているため、生産者補給金の交付はありません。

（畜産会 藤田）

体表温度と活動量から乳牛の分娩を予測

乳牛の分娩を予測し分娩事故を防止するために、尾部に装着したセンサで体表温度や尾部加速度を連続的に測定し、機械学習により分娩を予測する技術の開発に取り組んでいます。

【分娩予測の方法】

分娩予定10日前のホルスタイン種雌牛の尾部腹側に体表温度と加速度を計測する多機能尾部センサを装着します。測定したデータはクラウドに送信され、機械学習により24時間以内と6時間以内の分娩予測を行い、予測結果をスマートフォンやパソコンで確認します。今回の研究では放し飼いモデルとつなぎ飼いモデルの2種類のアルゴリズムで機械学習を行い、分娩予測結果を比較しました。

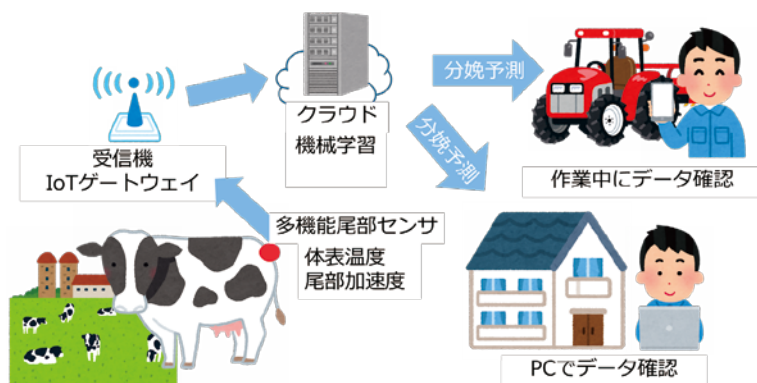


図1 多機能センサによる分娩予測のイメージ



多機能尾部センサ
20.1×26.0×9.7mm
ゴム製ベルトに収納して尾部腹側に装着
体表温度と加速度を3分間隔で測定

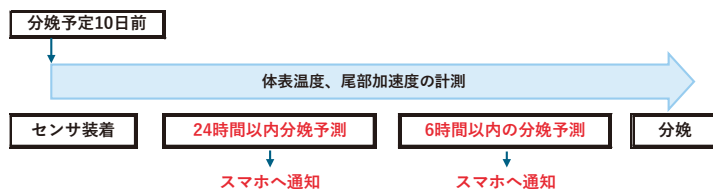


図2 センサ装着から分娩までの経過

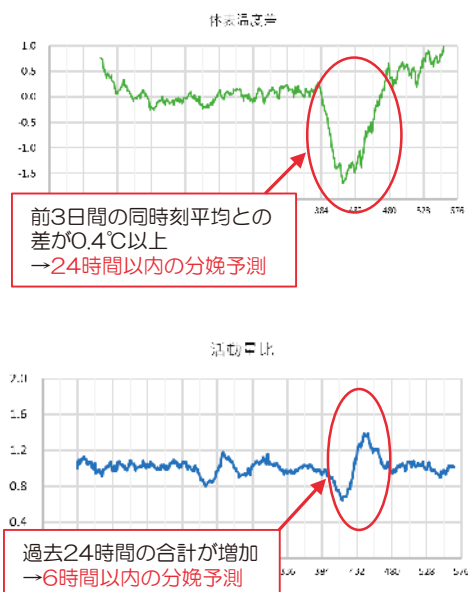


図3 体表温度と活動量の変化

【分娩予測結果】

体表温度の変化から24時間以内の分娩予測、活動量の変化から6時間以内の分娩予測を検知しました（図3）。分娩予測検知率は78～100%、予測時間内分娩率は56～83%であり、放し飼いモデルとつなぎ飼いモデルのアルゴリズムで同様の成績が得られました（図4）。

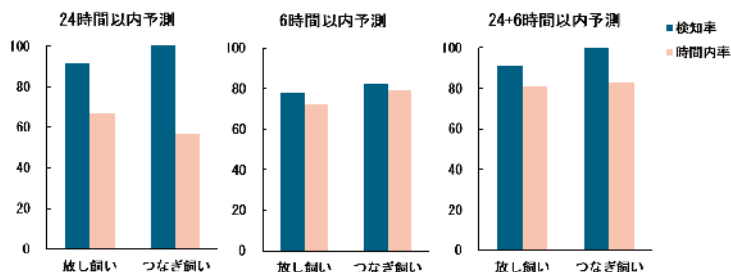


図4 分娩予測検知率と時間内分娩率

センサで測定した体表温度と活動量の変化から乳牛の分娩を予測できることが分かりました。引き続き予測精度の向上と難産や疾病の検知への応用に取り組む予定です。

担当 畜産技術センター 企画研究課 秋山清

令和7年度

かながわ畜産環境大賞 かながわ畜産経営特別賞表彰式を開催 ～畜産環境対策と創意あふれる経営が紡ぐ、神奈川畜産の未来～

（一社）神奈川県畜産振興会は、県民の皆様から深い理解と信頼を築き、次代を担う畜産関係者の志を高めることを目的として、令和7年度より新たな表彰事業を始動しました。本事業の柱は二つ。一つは環境対策と真摯に向き合い持続可能な畜産に挑み続ける生産者を称える「かながわ畜産環境大賞」。そして、もう一つは都市近郊という限られた条件の中で創意工夫によって新たな神奈川畜産のあり方を切り拓く生産者に贈る「かながわ畜産経営特別賞」です。

【丁寧な現場調査を経て受賞者を決定】

受賞者の選定にあたっては、各畜種の生産者団体から推薦された候補者を各生産者団体、関係団体とともに一件ずつ訪問。書面だけでは見えない日々の創意工夫や努力、そして、困難な状況下でも「地域に必要とされる畜産でありたい」「この営みを未来につなげたい」と願う生産現場の想いを丁寧に調査し、受賞者を決定しました。

【想いがひとつになった表彰式】

令和8年2月27日、多くの生産者や関係団体が見守る中、表彰式が執り行われました。厳かな空気の中にも、どこか温かさの漂う会場。事務局から各受賞者の取組内容が紹介され、志澤勝会長から栄えある表彰盾が一人ひとりに手渡されると、会場からは日々の努力に対する深い敬意を込めた惜しみない拍手が送られました。

【輝かしい功績を称えて】

また、本式典では、もう一つの大きな喜びを分かち合いました。「第16回全日本ホルスタイン共進会」において極めて優秀な成績を収められた、伊勢原市の竹園牧場様、ならびに藤沢市の長谷川勇輔氏。全国の頂点を競う舞台で勝ち得た栄誉の陰には、日々のたゆまぬ努力と畜産に向き合う真摯な姿勢があります。見事な栄誉を勝ち取られた両者の努力と神奈川の畜産の誇りを守り抜いたその功績に対し、感謝の意を込めて特別賞を授与いたしました。

【地域と共に歩む「神奈川の畜産」】

環境への配慮と時代を見据えた経営。今回表彰された皆様の姿は、これからの都市近郊畜産が進むべき一つの道標です。本会はこれからも、生産者の皆様とともに、地域に必要とされ、未来へと誇れる神奈川畜産の発展に向けて歩み続けてまいります。

（一般社団法人神奈川県畜産振興会 小嶋信雄）

令和7年度 かながわ畜産環境大賞 受賞者と主な取組内容

受賞者名	住 所	畜 種	主な取組内容	推薦団体
橋川牧場	綾瀬市	乳用牛	搾乳衛生環境が県内で最も優秀 畜舎内・畜舎周辺の環境美化 地域に良質な堆肥を供給	神奈川県酪農業協同組合連合会
(株) 三留牧場	葉山町	肉用牛	畜舎内・畜舎周辺の環境美化 未利用資源を活用した良質な飼料生産 良質堆肥の生産・供給	神奈川県肉牛経営者協議会
(有) ブライトピック	綾瀬市	豚	植栽・除草・悪臭対策の実施 畜舎内・畜舎周辺の環境美化 良質堆肥の生産供給と飼料米の生産	一般社団法人神奈川県養豚協会
(有) 鈴保養鶏園	綾瀬市	鶏	畜舎周辺の環境美化 地域に良質な堆肥を供給 畜舎等の衛生環境対策の実施	一般社団法人神奈川県畜産会養鶏部会

令和7年度 かながわ畜産経営特別賞 受賞者と主な取組内容

受賞者名	住 所	畜 種	主な取組内容	推薦団体
(株) 小野ファーム	横浜市	肉用牛	乳用牛を活用した銘柄牛肉の生産 地産地消の実践 未利用資源を活用した良質な飼料生産	神奈川県肉牛経営者協議会
(株) 丹沢農場	愛川町	豚	6次産業化の取組（自社農場で育てた豚肉の魅力を強く発信できるよう生産体制の効率化を図り、「味」と「品質」を追求）	一般社団法人神奈川県養豚協会
(有) 小川フェニックス	相模原市	鶏	直売場を活用した鶏卵の高付加価値販売 自農場の堆肥を活用した野菜生産・販売	一般社団法人神奈川県畜産会養鶏部会



表彰盾の授与



令和7年度受賞者による記念撮影



受賞者取組内容の説明

地方競馬の収益金は
畜産振興に役立てられています。

川 崎 競 馬 開 催 日

6月15日(月)～6月19日(金)ナイター
7月 6日(月)～7月10日(金)ナイター
7月27日(月)～7月31日(金)ナイター

これからの『おいしい』のかたち

みなさん、毎日のお仕事おつかれさまです。最近「スマート畜産」という言葉、よく耳にしませんか？実は牛舎のあちこちで面白い技術が活躍し始めているので、いくつかご紹介します。

○牛の「体重計」がいらなくなる？

これまでは牛をわざわざ捕まえて体重計に乗せていましたが、今はカメラで撮るだけでAIが体重を推定してくれる技術があります。牛にストレスを与えず、成長具合を毎日データで見守れるので、「出荷のタイミングの最適化」がデータで裏付けられるようになっていきます。

○映像で「歩き方」をチェック

牛の歩く姿をAIで解析し、蹄の病気やケガの予兆をいち早く見つけるシステムも登場しています。削蹄の記録と連動させることで、足腰から健康を支える「データに基づいたケア」が可能になっています。

○首輪型センサーで体調管理

こちらはつなぎ牛舎でも導入が進んでいます。発情や体調変化の「小

家保だより

さなサイン」を見逃さないことで、事故を減らし、牛も人間もストレスなく過ごせる、そんな優しい管理ができるようになっていきます。

○牛のゲップ対策が拓く、次世代ブランド

最近、牛のゲップを減らす「魔法の粉」が話題なのをご存じですか？カシユーナツツの殻などを混ぜた特別なエサを食べるだけで、メタンガスがぐんと減るそうです。これまで通りのおいしいお肉を作りながら、地球にもやさしい。そんな「エシカルな牛肉」として、新しいブランド価値になるかもしれません。

せん。

これからは「サシの入り」「枝肉重量」や「乳成分」だけでなく、「どう育てたか」「どれだけ環境に配慮したか」というストーリー自体が、消費者が選ぶ「美味しさ」の新しい基準になっていくでしょう。

時代は変わっていきますが、牛という命と向き合う仕事の尊さは変わりません。最新の技術をちよつと味方につけて、明日からの畜産業をちよつとわくわくするものに、みんなで形にしていけたら素敵ですね。

(湘南家畜保健衛生所 戸田)

トランプは遠い敵地で戦争し武器売って平和唱える早苗さん

ロシアがウクライナに攻め続けイスラエルとイランがガザ地区でドンパッチをやっている最中に米国のトランプ大統領はベネズエラに侵略し、その大統領を拘束してしまった。拘束された大統領のその後の報道を晦まかのすように、今度はいランに大部隊を出動させて核開発関連施設を砲撃した。どのくらいの砲撃をしたのか？日本に販売予定だったミサイルトマホークが足りなくなつて「納品をまってくれ」と言っているそう。世界一の軍事大国でも数日の戦闘で弾が足りなくなっちゃうんですね。

新むらすめ



日本は八一年間にわたつて他国と戦火を交えることなく平和国家を自認し、世界に認められるようになった。八一年の重みは測り知れない。これを投げ捨てて武器をたくさん作って輸出し、同盟国、同

誌国との連繫を強め抑止力を高めよう。現在輸出してよいのは「救難・輸送・警戒・監視・掃海」の5類型だけに限定だが、これを撤廃して殺傷する武器も含めようと。これじゃ平和は遠ざかる。

早苗さんよ！トランプ大統領が「イランの核関連施設を攻撃したつもりが学校や住宅に弾を撃ちちゃって、弾が足りなくなっちゃったよ、至急売ってくれ。納品先はいラン

のホルムズ海峡航行中の駆逐艦(ドナルド)まで」って注文されたら「いいいわ、

日本の防衛産業の基盤強化に御協力くださいまして有難うございます。ワタクシ早苗がしっかりと承ります。」と応じて大儲けするのかな？

日本は国際法や人権を無視する国には武器を渡さない。日本は他国の紛争に加担しない。平和国家の理念を失わないように、じゃじゃ馬の手綱を引き締める国会の力が必要であらう。

(忠九朗)

一般社団法人神奈川県畜産会 新規採用職員紹介

家畜衛生部

三浦

正太郎

経営指導部

宮里

しおり